

「双葉郡の町村の復興計画は国の都合で作られたもの。将来の展望が見えない区域も作っただめ、内容が空想の上になってしまっている」。福島大行政政策学類教授の今井照(61)に策定するのが建前だが、今井の見方は異なる。

各町村が策定する復興計画は、帰還に向け住民の思いをきき止める役割が期待されはじまった。しかし震災から3年余が経過し、復興交付金の大半は決

「復興交付金の大半は決養峰業小川貴永(43)は、自ら「双葉郡の具体的な将来の復興計画を冷やかに見てい

待されはじまった。しかし震災から3年余が経過し、復興交付金の大半は決

しても、除染や避難指示解除などが不透明

除なで将来の行方が不透明し方が優先された」とした候補地となり、その行方が必要があるが、合併すればそれらもスムーズにい

重ねられずにいる。復興計画と古里の将来を金のメニューは決まっていから内容が網羅的で、同復興計画は、各町村が住民の意見を踏まえ、主体的きがかからないなら、「将

「絵空事」の復興計画 古里の将来重ねられず



復興拠点整備のプランに目を落とす渡辺町長。町単位の復興計画には限界も感じている。

なからずあつた合併の議論が、最近では少

時事解説
長や豊臣秀吉
代。フロイス
戦乱の世に悲
にしていたの
ある日突然
われてしまっ
件、事故が後
車を走る凶器
う“脱送”ラ
返されるスト
悲劇。フロイ
を見たらなん
る。《？

電力をどこで電力を購入してきた手
電力の自由化
の電力会社から自由化
ける企業、家庭向け電力は各
が、企業、家庭向け電力は各
電力の自由化
の電力会社から自由化
ける企業、家庭向け電力は各

が分からないなら、避難を
続ける人も手厚く支援しな
いと
小川も同様の疑問を抱
く。「古里への(将来の)

「復興交付金の大半は決養峰業小川貴永(43)は、自ら「双葉郡の具体的な将来の復興計画を冷やかに見てい